

Kyoto Kitayamasugi
NENRIN
Healing Speaker

特許庁許可承認、意匠登録権取得済商品



株式会社 Kyoto Natural Factory

☎075-354-3719

〒600-8446
京都市下京区堀之内町259-1
www.knf.jp



開発者Interview

株式会社 Kyoto Natural Factory

代表取締役社長 大橋 俊矢

あすなる商店 林 伸之

北山杉への 思いから生まれた、 メイドイン・ジャパンの フルウッド・スピーカー



株式会社
Kyoto
Natural Factory
株式会社
京のくすり屋
代表

大橋 俊矢

あすなる商店 林氏と9年間に渡り北山杉のイノベーションに取り組み、製品開発を行っている。アロマ芳香器、北山杉、ヒノキ、柚子等のエッセンシャルオイル抽出工場を持ち、製造。将来の目標：京都発、音と香りを世界に発信すること。



あすなる商店
代表

林 伸之

北山杉の産地に生まれ、長年杉に囲まれ林業に携わってきた。将来の目標：京都を代表する製品を作り世界に発信し、利益を地域や山に還元すること。そして世界の人々に北山杉を知って頂き利用して頂きたい。

北山杉の美しさに魅せられて

—「NENRIN」開発の経緯を教えてください。

大橋 スピーカー開発の話が立ち上がったのは、11年ほど前。知人を介して林さんと出会い、北山杉に初めて触れたのがきっかけです。実際に触れてみて、木肌の美しさに感動しました。そこで林さんから、床柱用の北山杉の需要がどんどん減ってきていて、このままでは北山杉がなくなってしまう状況だと聞き、これはいかんと。世界に通じる商品に変えて、なんとか守っていかうと、林さんと誓い合っただけです。林 北山杉は和室の床柱が主な用途で、和風建築の減少とともに使われなくなってきています。

—需要がなくなって、北山杉が植えられなくなるわけですね。

林 植林もさることながら、木が育つまでには成長を促すための下刈りや枝打ちなどの手入れが不可

欠。需要がないからといって一度その作業を途切れさせると、立て直すのが大変困難になるんです。「NENRIN」に使う木を育てるには約30年かかっている、今植えているものが使えるようになるのも30年先。50年後、100年後のことを想定して今やっておかなければいけないと思っています。

大橋 600年以上続いてきた京都を代表する銘木が、途絶えようとしていることは、すごく危機感を持たないといけない話で、木を育てる人がいなくなってしまうように、何かで需要を作っていく必要がある。その一つの手段として考えたのが、スピーカーだったわけです。開発にあたっては、美しい木目を活かした「和のスピーカー」にすることにこだわりました。丸太をそのまま使ったスピーカーは、世界でも初だと思えます。

5年の年月をかけて完成

—商品開発で苦労したことは。

大橋 丸太をくり抜いてスピーカーをつけること、Bluetooth対応にすることは決めていましたが、すべてが初めてのことで、苦労の連続でした。まずビュア・オーディオに詳しい方に伺うと、杉の木は柔らかいので、あまりいい音は鳴らないと。そして、いい音を出すには中の容積が最低90センチ必要だと言われ、その長さになり抜くための機械探しから始めました。その機械で穴を開けることも簡単ではなく、刃を特注で作ったりして、開けられるまでに半年かかりましたね。

林 木材はそのままだとひび割れるため、床柱などは、あらかじめ裏側に割れ目を入れておくんです。でも、スピーカーでは音が漏れてしまうので、割れ目を入れずに中をくり抜くわけです。それでも割れやすいので、木を3ヶ月かけて乾かしたり、塗装を施したりしています。ここが

一番苦心しました。割れるし、縮むし、反るし、非常にやっかいでいつも壁にぶち当たる。杉の小径木は、一番扱いが難しいかもしれない。

大橋 杉の年輪は、冬目(冬に育つ黒い部分)と夏目(夏に育つ白い部分)があり、柔らかい夏目に比べて冬目は大変堅く、ねじが真っ直ぐ入らない。木の個性もあるし、穴を微妙に調整しながらねじを留めるのに神経を使います。こうした加工だけでなく、デザインをどうするか、アンプの開発はどうするかなど、全部が手探りで、試行錯誤しながら約5年かけて今の形になりました。

林 ここまでできたのも、その時々でご縁のあった方々のお力があつたから。もの作りは情熱と人の助けがないとできないと思っています。

—どのような方に使ってもらいたいですか。また今後の展開は。

大橋 私は、特に女性に使っていただきたいんです。女の人ってオーディオにお金をかけませんよね。でも、この商品の良さがわかるのは、圧倒的に感度の高い女性だと思うんです。中高音が響く癒しの音が魅力なので、家で心地いい音をゆったり聴いていただけたらと思います。

User's Voice

株式会社右源太 代表取締役 CEO

鳥居 宏行 さん



ビュアな音色が
貴船の雰囲気にもマッチ

「NENRIN」を使わせていただいてから2週間ほど経ちますが、いいですね。中高音のビュアな音なので、聴き疲れしません。今までは重低音の、いわゆる「ドンシャリ型」のスピーカーを使っていましたが、音楽を長くかけていると、どうしても疲れてしまうんです。この貴船周辺は、パワースポットとも呼ばれている癒しの場所。僕は、ここで癒しと元気を感じてほしいなあ、と思っているのですが、ビュアでクリーンな音がするこのスピーカーは、そうしたコンセプトにもぴったりだと思いますね。

もともと波動スピーカーに興味を持っていて、「NENRIN」のお話を最初に伺った時は、「自分たちの身近にある北山杉がこういう活かし方をされるのは、おしゃれだな、これでいい音が聴けたら最高だな」と。正直なところ、音質にはそれほど期待していなかったのですが、聴いてみると、予想以上にいい音でした。僕はジャズ音楽が好きなんです。このスピーカーなら、ビル・エヴァンスなんかのきれいなピアノの曲が似合うんじゃないかな。

ゲストに好きな音楽でくつろいでほしい

現在、2つある客室の洋室と和

室に、それぞれ置いています。客室には、イサム・ノグチの照明やジョージ・ナカシマの家具など、自分の好きなものを置いているんですが、そこにもちょうど合うなあと思っています。ゲストの方に、この空間で、このスピーカーを使ってお気に入りの曲を楽しんでいただけたらと思うと、すごくワクワクします。また、近くに、うちがやっているギャラリーやカフェがあるのですが、そこにも合うかもしれませぬ。



今後は、業務用のものも出す予定です。私の今の夢は「NENRIN」を海外に広めていくこと。これを皮切りに北山杉の良さが海外の人に認められ、北山杉を京都へ買いに行こう、というぐらいになっ

てほしい。
林 木を食べられるぐらい(笑)というのは究極ですが、50年後、100年後のために、北山杉をより身近に、多くの人に使ってもらえるようにしていきたいですね。



株式会社 右源太
代表取締役 CEO
鳥居 宏行

右源太

鴨川の水源地であり、「京の奥座敷」として親しまれてきた洛北・貴船。その清流沿いにある「右源太」は、水の神様を祀る貴船神社に仕える社家だったという料理旅館です。春夏は川床料理、秋冬は「気生根拠」などの鍋料理、懐石料理など、貴船の旬の食材を使った料理が楽しめます。木の温もりを活かした和洋の客室は、露天風呂のあるメゾネットタイプ。四季折々の自然の中で、くつろぎの時間を過ごせます。

京都市左京区鞍馬貴船町76
☎075-741-2146
営業/11:30~16:00(LO14:00)、
17:00~20:00(LO18:00)
定休日/不定休(食事)
宿泊/IN15:00~OUT11:00~
http://www.ugenta.co.jp/

5年連続ミシュラン三ツ星獲得



イサム・ノグチの照明、ジョージ・ナカシマの家具と
のコラボレーション

